

題名(教材名)	友だちならどうする (絵葉書と切手)
ねらい	友達との心のつながりの大切さを自覚して、互いに信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。
授業のポイント	<p>こんな3年生 3年生の発達段階において、この時期は、その場の雰囲気や情景に左右されて、思慮を欠く判断をしてしまうことが度々ある。また、互いに切磋琢磨し合えるような、よりよい友達関係の構築が難しくなる時期でもある。そこで、どんな行動が、本当に友達のためになるのかを考えさせ、自己の生き方についての生き方を深めさせることを大切にしていきたい。</p> <p>教材のポイント 本教材は、ひろ子がどのように行動することが友達のためになるかを考えることを通して、ねらいに迫る。仲良しの友達の正子から届いた定形外郵便物の料金不足について、本人にそのことを知らせるべきかどうか迷うひろ子の気持ちが描かれている教材である。ひろ子の迷う葛藤について児童にも共感させることで、本教材の特色が生かされていくと考える。</p> <p>授業のポイント どんな行動が、本当に友達のためになるのかを考えさせ、自己の生き方についての考え方を深めさせていく。</p>
<p>このお話では、母親や兄から助言をもらいながら、どのように友達に対して対応していくかを主人公のひろ子は考えます。お子さん達も、家庭生活からいろいろなことを学んでいると思います。お子さんから相談を受けたときなどに、この授業を思い出していただけると嬉しいです。</p>	